

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< D区分 > 千船駅自転車駐車場、塚本駅自転車駐車場、出来島駅自転車駐車場、姫島駅自転車駐車場、福駅自転車駐車場、御幣島駅自転車駐車場、加島駅自転車駐車場、神崎川駅自転車駐車場、十三駅自転車駐車場、新大阪駅北口自転車駐車場、新大阪駅南口自転車駐車場、西中島南方駅自転車駐車場、東三国駅自転車駐車場、東淀川駅自転車駐車場、相川駅自転車駐車場、井高野駅自転車駐車場、上新庄駅自転車駐車場、下新庄駅自転車駐車場、新大阪駅東口自転車駐車場、瑞光四丁目駅自転車駐車場、崇禅寺駅自転車駐車場、だいどう豊里駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局総務部管理課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場を設置している
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち100％
指定管理者名	株式会社アーキエムズ
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	100％
年度実績	96.6％
達成率	96.6％

利用状況

	当年度	前年度	前年度差
利用人数（定期）	195,518	193,133	2,385
利用台数（一時）	2,261,609	2,179,264	82,345
利用率（定期）	79.0％	78.2％	0.8％
利用率（一時）	99.3％	95.7％	3.6％

3 収支状況

収入		当年度	前年度	①差異（実績－計画）	②差異（実績－前年度）	主な要因
業務代行料	実績	－	－	－	－	
	計画	－	－			
利用料金収入	実績	634,532,128	623,922,550	-35,957,872	10,609,578	①新型コロナウイルスの影響でテレワークが普及し、利用者が減少したため。 ②大阪万博の影響があり、一時利用の売上が約104％増加した。
	計画	670,490,000	667,268,000			
その他収入 （自主事業収入）	実績	－	－		－	
	計画	－	－			
合計	実績	634,532,128	623,922,550	-35,957,872	10,609,578	
	計画	670,490,000	667,268,000			

支出		当年度	前年度	①差異（実績－計画）	②差異（実績－前年度）	主な要因
人件費	実績	212,074,071	212,192,853	24,104,271	-118,782	①当初想定より、単価87円×166,000時間＝14,442,000円最低賃金が上昇したため。 （福利厚生、社会保険料は別途） ②最低賃金が上昇したが、同等額の勤務時間や体制の見直しを図った。
	計画	187,969,800	187,969,800			
管理費	実績	378,425,177	384,913,751	-70,006,902	-6,488,574	①変動納付金33,490,000円が発生しなかったため。また、WEB定期システム運用費として約25,000,000円見込んでいたが、導入にいたらなかったため削減となった。 ②備品購入費を抑えたことによる削減を実施した。
	計画	448,432,079	445,210,079			
その他事業費 （自主事業支出）	実績	－	－	－	－	
	計画	－	－			
合計	実績	590,499,248	597,106,604	-45,902,631	-6,607,356	
	計画	636,401,879	633,179,879			

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）
（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	96.6%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を0とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：車両の特徴、機械式駐輪場について、管理事務所スタッフについて、駐輪場の利用満足度、導入してほしいサービス 調査方法（期間）：アンケート調査（とても満足している・満足している・普通・不満がある・とても不満があるの5段階評価）D区分全駐輪場（令和8年2月25日～3月31日） 回答率：43.7%（22駅（配布2,350枚 回収1,028枚）） 結果の算出方法：利用満足度のみ抽出し、算出。 結果：とても満足している・満足している・普通 96.6% 不満がある・とても不満がある3.4%

6 外部専門家意見

・収支は+44百万円(前年度は27百万円)と改善している。収支プラスの要因は変動納付金33百万円の不発生によるものと、WEB定期システムの導入見送りによる25百万円が発生しないものである。WEB定期システムの導入見送りについては収入・経費・実務面で今後どのような影響があるか確認が必要である。収入の前年度比の増加約1.7%は主に大阪万博による影響であり、来年度以降は減少することが見込まれる。当該影響や変動納付金、WEB定期システムの影響等を考慮し、他区分との影響も考慮し利用料単価の見直しを検討されたい。 ・収支実績のバランスは取れている点は評価できる。しかし、計画されていたWEB定期システムの未導入は、利用者目線で考えた際に望ましいこととは言えない。今後、同システムを導入するのかどうかは報告書などからは判断できないが、収支バランスとともに、利用者の利便性向上を目指した管理が望まれる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において、「とても満足している・満足している・普通」の評価の割合が96.6%であった。 ・自転車的大型化に伴う車室の狭小に対する意見が見受けられたため、当該意見等を踏まえ、利用者満足度の向上につながるよう施設の管理運営に努められたい。
市費の縮減	B	・提案どおりの基本納付金額を納め、計画どおりの市費削減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B	・事業計画で提案のあったキャッシュレス対応などに取り組み、サービスの向上に努めていることを確認した。令和7年度はさらに、一の自転車駐車場に置いて、Web定期更新機の導入、大型対応ラックの新設、駐輪ラックの間隔を従来の400mmから450mmへ拡大するなど利用者の利便性向上につながるよう取り組んだ。 ・施設の管理運営はチェックシートを使用し、毎月適切に実施していることを確認した。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・上記のとおりサービス向上・利便性向上に努めている点について評価できる。外部専門家意見にもあるとおり、事業方針や収支改善策を検討した上で、今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。